

子どもの心と親の心

子どもが自信を持つようになるまで

子どもは大人と比べると、できないことが多くあります。大人が子どものできないことを責めるのは簡単なことです。しかし責められた子どもの気持ちはどうでしょうか。どうしていいかわからないだけに責められると、自尊心まで傷ついてしまうかもしれません。そんな時、周りの大人はただ責めるのではなく、少し視点を変えて、子どもの言葉に耳を傾けたり、子どもと根気よく具体的な解決方法を一緒に考えてみてはどうでしょうか。そうすることで、親子で困った場面を乗り越えることができるかもしれません。

子どもは自分を理解しようとしてくれる人がいることで、失敗しても大丈夫だと思える安心感が芽生えます。そして、その子どもに応じた言葉を掛けることで、困った場面を乗り越える力を身に付け、できるかもしれないと思える気持ちが育ちます。その経験の積み重ねにより自分を信じる気持ちが育ち、自信が持てるようになり成長していくのです。



教育相談センター「鶴山塾」 学校のこと、友だちのこと、
山下87番地 電話 22-2523 家族のこと、気軽に相談してください

つやま新産業創出機構 産官学

Vol.12 津山のステンレス加工技術を全国にPR

★第15回機械要素技術展に出展
ステンレス加工業の共同受注グループ「津山ステンレスネット」は、東京ビッグサイトで開催された日本最大規模の機械・部品関連加工技術の展示会「機械要素技術展」(6月22日～24日)に出展しました。この展示会では、津山の産・学・官で組織する「津山ステンレスクラスター」も含めた展示を行い、その技術力を全国の企業にPRしました。

★多彩な商品で地域の技術力をPR
今回の主な展示は、食品・飲料製造工場などで使用されるステンレス製の高精度部品や継ぎ手、配管などに加え、除草ロボット(通称・アイガモロボット・広報つやま6月号)で紹介の実際の実物展示。銅製パイプの切断・折り曲げ加工機などさまざまな



さまざまな自動化機械の設計、開発、製造についてのパネル展示を行い来場者の興味と注目を集めました。

★新規顧客の開拓に向け、来場企業に売り込む
期間中、出展ブースを訪れた食品製造装置・医療関係機械メーカーなど約40社と情報交換を行い、津山のステンレス関連企業が得意とする緻密で高精度な切削加工技術、また、ステンレスパイプの接合部を滑らかに加工するための技術(バーリング加工)などをアピールしました。

今後は、これら津山のステンレス加工技術に興味を持つ企業とのつながりを大切にして、商談・営業活動を広げていき、新規顧客の開拓、受注の獲得を目指します。そして、今後も津山のステンレス加工業のさらなる活性化を進めていきます。



津山ステンレスネットでは、毎年「機械要素技術展」へ出展して、新規顧客の獲得に向けて活動しています。

問い合わせ先 つやま新産業創出機構 24-0740

エコるびー

おしえて

問い合わせ先 環境事業所 22-8255

キャンペーン実施期間 10月1日(土)～31日(月)

ノーレジ袋で地球環境を守ろう
協力加盟店で買い物をする際、レジ袋を断ってエコシールを集めると、景品と交換できるつやま・エコ・システム!今年も利用拡大キャンペーンを実施します。

特典
①キャンペーン期間中はレジ袋を断るとエコシールが2枚もらえる!(通常1枚)
②景品交換したエコカードの中から抽選で、協賛店で使える商品券が当たる!

必ず住所・氏名を記入してね!

協賛店専用商品券 総額15万円
5,000円分……10本
1,000円分……50本
500円分……100本
※商品券の有効期限は12月20日(火)

※特典は協力加盟店のうち、キャンペーン協賛店舗に限りです。店舗など詳しくは、広報つやま10月号に折り込むごみゼロ新聞に掲載予定です

つやま・エコ・システム 8周年キャンペーン

環境奉行「エコるびー」

けんこう広場 『不育症』を知っていますか

健康つやま21

不育症とは、妊娠をしても流産や死産を繰り返し、出産に至らない病気のこと、妊娠できない不妊症と異なります。また、女性の2～5%がこの病気です。

流産の体験はつらいものです。周りの人たちに理解してもらえず、次の妊娠に前向きになれないなど大きなストレスを抱える人も多いようです。

不育症は適切な治療を受けることで70～80%以上の人は出産することができます。家族を含め、みんなが正しい知識と理解を持つことが大切です。

※医療保険の対象とならない検査や治療があります
※詳しくは厚生労働省ホームページ(<http://fuiku.jp/>)をご覧ください

不育症の原因

原因	説明
内分泌異常	糖尿病や卵巣ホルモン・甲状腺機能の異常など
子宮異常	子宮奇形、子宮筋腫、頸管無力症など
染色体異常	夫婦の染色体異常(夫婦の両方または、どちらかが保因者)、胎児の染色体異常(流産の原因の半数以上を占める)
感染症	梅毒、トキソプラズマ、クラミジア、ウイルスなど
免疫的異常	血液型不適合妊娠(母親の血液型がRh(-)型)や自己免疫疾患(全身性エリテマトーデス(SLE))の治療不十分など
その他	心疾患、慢性腎炎、血液疾患、遺伝病など

問い合わせ先 健康増進課 32-2069